

本取り組みは、愛知県新城市において実施された高速道路事業で、2016年に開通を迎えました。

紺東（こんとう）・柿本地区が含まれる豊川工事事務所管内は、三河山地や八名山地、豊川沿岸の洪積台地・沖積平野などに囲まれた約30kmの区間です。周辺ではオオタカやサンバなどの希少な生きものが確認されています。「彩り豊かな三河路（みかわみち）」を植栽の設計テーマとし、里地・里山における四季の変化を楽しむやすい環境づくりが意図されています。

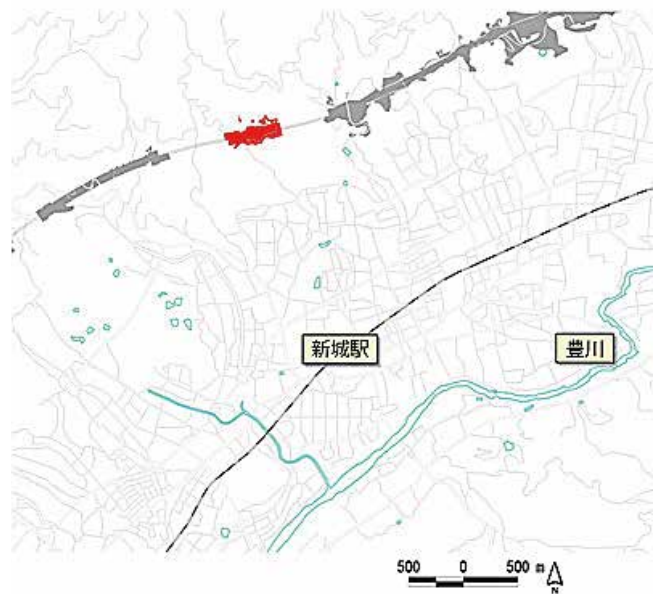
評価された主なポイントは以下の通りです。

地域性苗木の活用

地域に自生する植物の種子を採取・育成し、現地に植える、「地域性苗木」の活用に取り組んでいます。他の地域の植物との交雑を抑え、地域本来の植物の遺伝子を守る効果が期待されます。

スギ・ヒノキ人工林の広葉樹林化

事業区域内に広がっていた人工林が将来的に広葉樹林に置き換わることで、生物多様性の質が大幅に向上します。



評価対象事業の位置



紺東・柿本地区の全景



伐採跡地に自然の植生が回復しつつある法面のようす